## 調査実施に向け今後検討すべき課題

- ▶調査事項について
  - 調査事項の存廃等
  - 複数年継続調査における調査事項 の設定
  - 経済センサスー活動調査 (以下、活動調査)実施年の対応
- ▶ 標本交替方法について
  - 母集団フレーム
  - 時系列の安定性確保

# 調査事項について

- 調査事項の存廃等
  - 構造編の調査事項をベースとする
  - 既存の調査事項の要否
  - 新たに把握すべき調査事項の有無
- 複数年継続調査における調査事項の設定
  - 全ての調査事項を毎年把握するのではなく、 特定の年のみの調査事項を設定することで 詳細な活動実態を効率的に把握
- 活動調査実施年の対応
  - 活動調査と重複する調査事項(経理項目、 従業者数等)の削除

#### 標本交替方法について(1)

- 母集団フレーム
  - 母集団フレームは、活動調査を用いる
  - なお、母集団フレームの老朽化を防止するため、 活動調査後の開業・廃業情報を活用してメンテナン スを行う
- 時系列の安定性確保
  - 同一の標本(調査客体)について、2か年又は3か年 継続して調査し、1/2又は1/3ずつ交替
  - ただし、1年目以降に廃業等となった場合は、代替の調査客体を選定
  - なお、代替を行った調査客体についてはその後 2か年又は3か年継続して調査

### 標本交替方法について(2)

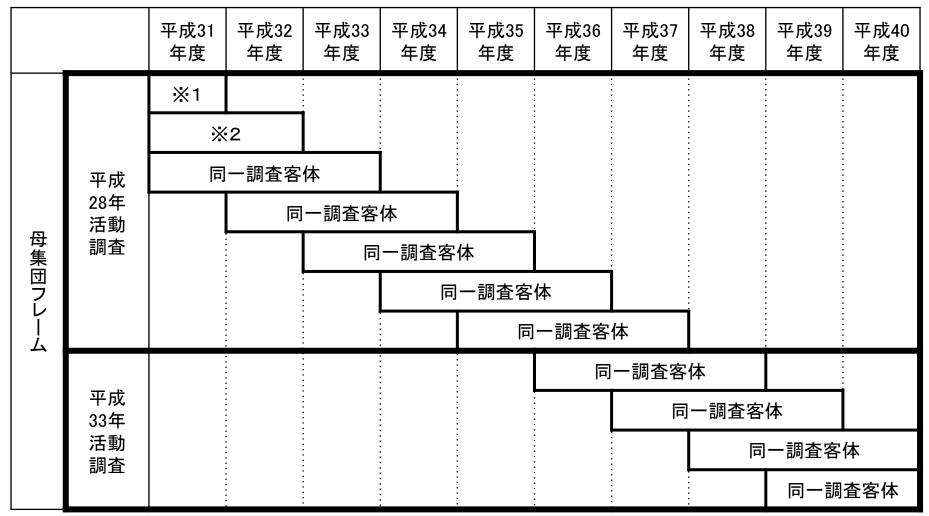
#### <標本交替のイメージ(2か年継続調査の場合)>

		平成31 年度	平成32 年度	平成33 年度	平成34 年度	平成35 年度	平成36 年度	平成37 年度	平成38 年度	平成39 年度	平成40 年度
母集団フレーム	平	*									
		同一調査客体									
			同一調査客体								
				同一調査客体							
					同一調	査客体					
						同一調	査客体				
	平成 33年 活動 調査						同一調査客体				
								同一調	査客体		
									同一調査客体		
										同一調	査客体

<sup>※</sup> 平成31年度に調査を行う個人企業の1/2は、1か年のみ調査

### 標本交替方法について(3)

#### <標本交替のイメージ(3か年継続調査の場合)>



- ※1 平成31年度に調査を行う個人企業の2/3は、1か年又は2か年まで調査
- ※2 平成32年度に調査を行う個人企業の1/3は、2か年まで調査